

新しいIFAに移行します

会長 福岡 茂

今年も例年以上活気のあるIFA展になりました。私は展覧会に出品されているすべての作品を称して芸術作品と呼ばせて頂いています。約40年の歳月と共に、IFAの今日を支えてくれた西谷、浅尾、三谷さんらの実務担当の皆さんに心から御礼申し上げます。

その間、当然意見の差があり、議論したことは幾たびもありましたが、人間の組織ですから闊達な意思疎通はむしろ必要であり、これからもより良い発展のために、この風土を大切にしましょう。

日本の芸術は、歴史的な古来の史実に欧州などから新たな技法が次々と重層し、今日的複雑な時代を形成しましたが、芸術の本質を読み違えてきたような気がしています。

美術学校は美こそすべてであり、美しくなければ絵ではないと、一元的に追い求めてきました。日展の作品の評価の尺度はアカデミズムであり、退屈な作家を長年育ててきました。

私の友人であるドイツから来られた人類学の先生がいます。よく呑みに付き合いますが、芸の本質は「人へどれだけの感動を伝えられるか」であり、美しさを包含している「感動」であり、故に芸術は素晴らしいのだという。感動、あるいは感性のない作品は物でしかない、どんなに上手く描けても、逆に上手く描けなくとも感動を与えられる作品を一義的に描けという。

IFAという会派は、なにか他の展覧会とは違う。同時にそういう意識を出品者に感じることもあります。そのためには、自分が自分の作品に感動できるか？を問い直し、例えば10%でもあれば、それはなぜだろう？と考えることが必要ではないでしょうか。

これからも、楽しく豊かな時間を共有するためにももっと考えたい、試したい、創りたいとIFAという場を活用しましょう。



産経新聞大阪本社賞【絵画】
お酒の涙 福岡 茂



特選(写真部門) 【写真】
メルヘンの世界 高橋 久栄



新人賞【工芸】
アリスウィンドウシリーズII 安達 裕子

本年度の I F A 展（国際美術協会展）を無事終了した事は何よりすばらしい事であったと考えます。と申しますのも一言で申しますと、絵画、書道、工芸、写真の各部門に於いて数多くの方が作品を出展された事です。ともすれば今まで出展されていた方々の中に種々の理由により退会される方も多く、従来のように作品が出展されない場合があり、例年苦慮している次第ですが、本年度は例年になく作品の数も多くあり、この点からも成功と云わざるを得ないのではないかと存じます。

絵画の部門では佐藤先生の門下の方々のご努力とご協力により、多数の方々が出展されました事、感謝にたえない次第です。作品の大きさも昨年よりも大きくなってきた方もあり、内容に於いては誠に精細な作品が多く、作者の方々のご努力を知る事となった次第です。どうかさらなるご尽力とご協力を願う次第です。

書道の部門では本年は海外からの参加が多く力強いものを感じた次第です。従来は台湾の書家の方々がご協力されていましたが、台湾からは従来通りご出展頂いた上にさらに本年は中国からの参加出展が多数ありました。中でも学生諸君の作品も出展され誠に多種多様な展示となり、国際美術展の名にふさわしい展示となった事は誠に喜ばしい次第でありました。

私もお挨拶の中で申し上げましたが何はともあれ継続する事こそ大切であり来るべき年にもぜひ出展頂きたいとお願いする次第です。

工芸の部門では昨年に引き続き、ステンドグラスの作品のみならず陶器の出展がありうれしく存じています。ただ陶器を出展された方は初めて出展されたとの事でしたが、ぜひ来年もご出展頂きますようお願いしています。その前にある春季展にご出品頂ければと存じます。

写真の部門では数は減少しましたが作品の内容は一段と向上して来ておりぜひ続けてご出展下さるようお願いしています。お世話される方もご苦労かと存じますがご尽力下されば幸甚です。

I F A 国際美術協会は誠に自由な会であり、各部門でご参加されている方々に厳しい制約は致しておりませんが、参加される方々がご自分の事は勿論であります。I F A 国際美術協会の将来の発展を考えて会を盛り上げるようご尽力を頂きたくお願いする次第です。来年、春に開催いたします春季展にも作品をご出展頂きますようお願いしています。

最後に一言苦言を申し上げますと、受賞された方々が授賞式にご出席にならなかった事は誠に残念であります。中国からの方々も授賞式には出席されていましたが国内の方で欠席された方

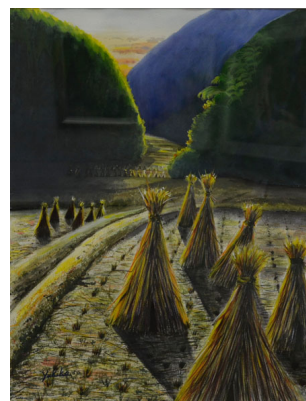
が若干おられた事は誠に重ね重ね残念であります。I F A 国際美術協会は基本の考えとして自由であります。会の方々の相互の親睦も最も大切にする会であります。I F A 国際美術協会の基本の考え方をよく理解してご協力をお願いする次第です。



IFA 会員【絵画】
大山 堀 正幸



兵庫県知事賞【絵画】
剣岳の想い 上田 文平



奨励賞【絵画】
里山の朝 吉田 裕喜子

今夏 IFA 展へのご来場者数は過去最高の約 1200 名になったとお伺いしました。書道部門としてもとても素晴らしい展覧会となり、国内外のご関係者の皆様に心より感謝申し上げます。書道部門は、国内は南房泰碩先生の作品をはじめ、32 点の力作が揃いました。ひとえに南房先生のご指導によるところであります。その中で西田光碩さんの「不死鳥」が、本年度の IFA 国際美術協会賞に決まりました。

この作品は、金文という中国の古い漢字の原型をもとにデザインされた作品であり、他に類を見ない作品です。

IFA のもう一つの活動の主軸であります国際文化交流ですが、今年も台湾和平書道学会のみなさまから、書道作品をご出品いただくことが出来ました。どれも素晴らしい作品ばかりでした。台湾には毎年、書道部門の代表が訪問して書道交流を続けており、今年で 11 年目の節目を刻むことができました。

そして、今年から中国北京の作家の皆様から、写真と絵画と書道作品をご出品頂くこととなりました。一緒に中国北京山東省の小中学生の書道作品も文化交流のために海を越えてやって参りました。嬉しいことに、中国北京山東省の小中学生のみなさんが、日本の福島の復興を願って作品を寄贈してくださり、福島県猪苗代町立長瀬小学校での中国小中学生書道展の開催となりました。日中友好の波が広がることとなり、ご協力を頂きました長瀬小学校の鈴木校長先生並びにご関係者各位、そして、橋渡しをして下さった中国北京の李哲さんに心より感謝申し上げます次第です。

IFA 展が、民間レベルでの国際文化交流の場として少しでも貢献することができたとなりましたら、これにすぎる喜びはありません。

また今年から京都の若手新進気鋭の作家のみなさまから、とてもレベルの高い作品をご出品いただくことができました。伝統ある格式の高い作品や、新しい表現方法の作品など、他の展示会ではなかなか見られないラインナップとなりました。IFA 展では既成の会派にとらわれず、出来るだけ自由に、いや実験的に発表してもらえたらと切に願っています。

最後に、2017 年 1 月より不肖私が福岡会長より IFA 国際美術協会の会長を引き継ぐこととなりました。力不足は否めなく、皆さんに多大なるご迷惑をおかけすることになると思いますが、どうぞこれからもご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

福岡会長には、これからは名誉会長として若輩者の私に引き続きご指南を賜りたいと切にお願い

いをしております。また、西谷事務局長も西田さんに事務局長の任を引き継ぐこととなりました。長きにわたり IFA を引っ張っていただきまして、ほんとうにありがとうございました！これから運営に際しまして分からないことが次から次へと湧き起こってくると思いますが、引き続きご指導をいただけましたら大変ありがたいです。

「IFA 国際美術協会は優れた絵画・工芸・書道・写真作品を通じ、国、民族、思想を越え世界の人々と文化交流を促進する美術団体です。人間本来の自由で豊かな発想により、平和な世界を創造することが願いです」

この活動理念のもと、諸先輩方が築き上げてこられました IFA の大切な財産を引き継ぎ、これからも発展し続けていけますよう頑張つてまいりますので、どうか今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます！



大阪市立美術館館長奨励賞【書道】
先駆創新 金原 芳山



国際交流特別賞【写真】
禪影 李哲

本年第38回展も盛大の内、観覧して下さった方々千五百有余名をもって成功裏に終了致しました。

御尽力をいただきました皆様に心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

今回も、国際 IFA 美術協会の名にふさわしい、中国、台湾、またヨーロッパで活躍される作家からの出品も相次ぎ、文化交流の柱として重要な展覧会であったと思います。

さて、展覧会の命とも言うべき、作品の創造性においては、いかがだったでしょうか。各界各人様々な評価がありましようが、創造性の萌芽とも言うべき作品が誕生しつつあるといったところでしょうか。益々各ジャンル競ってレベルを上げていかれんことを期待したいものです。

昨今、政治的に国際情勢は緊迫感を増しておりますが、その中であって本展は民間レベルでの文化交流を通して友好を深めるという、当たり前のことでありながら難しい課題を悠々と乗り越えていっております。人間としての喜びを様々なジャンルを通して謳いあげていく、そこに偏狭な国境はありません。同じ人間としての共通の感動があるのみです。その連帯こそ文化の力であり、人間の力と言って良いのではないのでしょうか。

話を、書の分野に移します。今回はからずも私が、国際 IFA 美術協会賞をいただくことになりました。今まで受賞された諸先輩方に比べ恥ずかしい限りではありますが、今後の期待と受けとめ拝受致しました。

自身心がけていることには、拙いながらも、どの展覧会にもない自身のオリジナリティを追求していきたいということです。道のりは長く辛いものでありますが、この IFA の舞台で更に精進を貫いていく所存です。

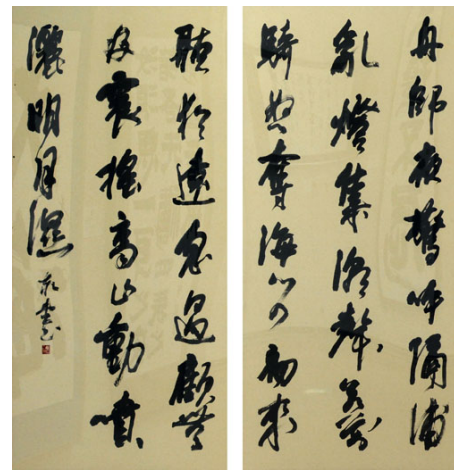
次に書分野の作品を概括的に見てみますと、日本と、中国、台湾の作品にはそれぞれ特徴が見られます。中台の伝統的な書法に対して、日本はその伝統を踏まえた創作的なところがあります。その両方の良さを交流を通して、刺激にしていってというのが私の感想です。

自らの書に固執することなく作品の書風の交流も今後の新展開の鍵を握ると考えます。

さて最後に、このたび来年度よりこの伝統ある国際 IFA 美術協会の新執行部として、尽力させていただくことになりました。事務局長の大役を仰せつかりました。もとよりそのような器ではございませんが、西谷前事務局長を初め、先人先輩たちが築いてこられた伝統を受け継ぐべく、粉骨碎身で努めさせていただく思いです。どうぞよろしくお願いいたします。



IFA 国際美術協会賞【書道】
不死鳥 西田 光碩



会長特別賞【書道】
高青邱詩 山口 泰堂



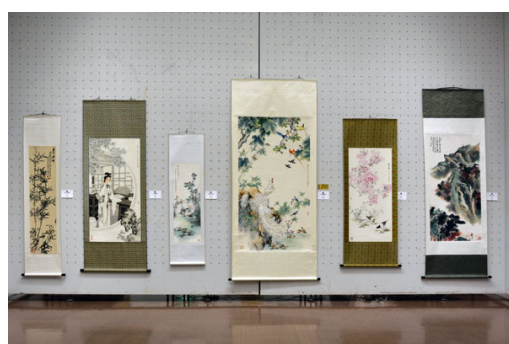
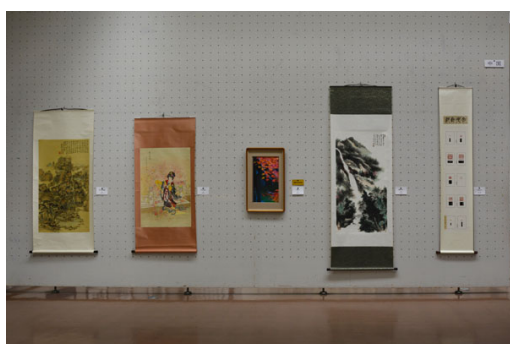
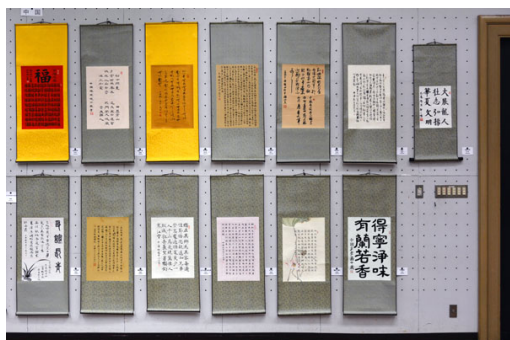
国際交流特別賞【書道】
静観 胡啟智



特選【写真】
百鳥朝鳳 劉鴻堯

中国青少年秀作書道作品及び中国有名作家作品

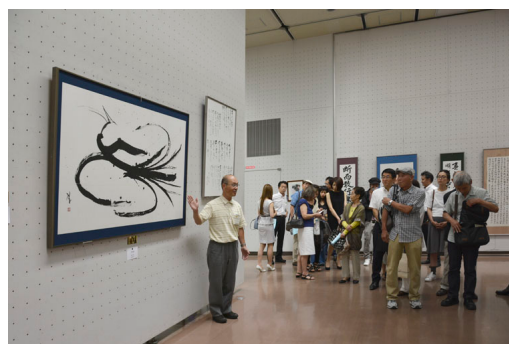
2016 IFA 展は、昨年より元中国領事館勤務の李哲氏より出展の依頼があり書道部長の金原芳山氏がわざわざ中国・北京まででかけられて、芸術家 6 名と山東中小生 19 名の作品を展示することとなりました。一部作品を紹介致します。



2016 IFA 展 合評会

2016 IFA 展は、大阪市立美術館・地下展覧会室にて 8 月 23 日（火）～8 月 28 日（日）まで開催しました。約 15000 名の方々に観覧して頂き無事終了しました。

8 月 27 日（土）、合評会では昨年に増して多数の方々による意見交換が行なわれました。中国からの出品者の方々も参加され、充実した時間を共有することが出来ました。



2016 IFA展 授賞式・懇親会

8月27日(土)、5時30分より阿倍野・楓林閣にて授賞式・懇親会を開催しました。
今回は中国からのお客様9名を向かえ、両国作家による書道のパフォーマンスも行なわれ大変盛況に終了しました。



2016 春季展

2016 IFA春季展は、西宮北口ギャラリーにて4月19日(火)～4月24日(日)まで開催しました。今回初めてこの展示室を使用しましたが、阪急西宮駅すぐという交通便利な場所にあり大勢の方々に観覧して頂きました。ありがとうございました。



事務局からのお知らせ

2017 IFA 春季展

4月下旬頃に開催予定ですが、会場等はまだ未定です。決定次第通知致します。

2017 IFA 展

会場 大阪市立美術館・地下展覧会室

会期 2017年8月29日(火)～9月3日(日)

会員の皆様の予定は事前に事務局までお知らせ下さい

尚、事務局から各々への問い合わせは致しませんが、ご連絡いただければIFA国際美術協会ホームページに掲載致します。



IFA 国際美術協会・事務局

IFA 国際美術協会 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 4-3-23-1201 電話 Fax 06-6454-0590